

第2回 PET 核医学ワークショップ

司会の言葉

小 西 淳 二 (京都大学医学部核医学科)
井 戸 達 雄 (東北大学サイクロトロン RI センター)

PET 核医学ワーキンググループでは昨年に引き続き、「PET 核医学ワークショップ」を日本アイソトープ協会サイクロトロン核医学利用専門委員会との共催で開催いたします。このワーキンググループは一昨年に設置された PET 核医学委員会から移行したものですが、その目的は PET に関連した核医学の振興と PET の臨床応用の推進にあります。具体的には、① PET 施設間の情報交換と技術交流、② PET サマーセミナー等の関連研究会との連携、③ PET 検査プロトコールの検討、④ 多施設共同研究の推進、⑤ 保険適用の拡大などを検討課題としています。

昨年は ^{15}O ガスを用いる PET 検査の保険適用が実現した画期的な年でした。本ワークショップでは、その後の 1 年間の歩みを振り返るとともに、今後の課題を会員の皆様とともに討議したいと思います。

まず最初に ^{15}O ガス剤による PET 検査の状況について、全国調査の結果を桑原先生にお話していただきます。

続いて、多施設共同研究で心臓の PET 検査における標準プロトコールの検討を行っている「心臓 PET 勉強会」の成果を飯田先生から報告していただきます。

最後に、臨床 PET 検査の普及に向けての日本アイソトープ協会の活動状況を小西が報告いたします。

このワークショップの目的は PET 施設間の情報交換に止まらず、これから PET を導入しようと考えておられる方々にも役立つ、実際的な情報を提供することにあります。多くの会員のご参加により、実りあるワークショップとなることを願っています。